

平成29年度地方創生拠点整備交付金効果検証について

| 対象事業名 | 総合戦略のKPI (重要業績評価指 標) | 事業概要 | 事業費 (単位:円) | 交付金 充当額 (単位:円) | 成果指標 | | | 【1】効果検証(4段階評価) ①地方創生に非常に効果があった。 ②地方創生に相当程度効果があった。 ③地方創生に効果があった。 ④地方創生に効果がなかった。 | 【2】外部有識者による評価(2段階評価) ①総合戦略のKPI達成に有効であった。 ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない。 | 【3】今後の方針(5段階) ①追加等更に発展させる ②事業内容の見直し(改善) ③事業の継続 ④事業の中止 ⑤予定通り事業終了 |
|--------------------------------------|--|---|---------------|----------------------|--------------------------|--------|--------|---|---|--|
| | | | | | 指標 | 目標値 | 実績値 | | | |
| 東松山ぼたん園 オールシーズン 化リノベーション 事業 | 【基本目標・数値目標】 人口:平成31年 88,700人 年間観光入込客: 平成31年 250万人 市内事業所数: 平成31年 3,504 市内従業者数: 平成31年 36,500人 転入者数: 16,500人 (平成27年度～平成 31年度合計) | 東松山ぼたん園において、ぼ たんの開花時期の収益確保 と開花時期以外にも多くの集 客が見込める施設へ再生さ せるため、マーケットデッキや テラス、展望台、園路の整備 を行い、施設のリノベーション を図る。集客力の向上による 収益の確保に加え、産業分 野との連携強化や、地域住民 の活躍の場を創出すること で、地方創生の方向性である 観光・産業・子育ての取組を 一体的に進めるための拠点 として整備する。 | 101,038,320 | 21,154,398 | 年間の来園 者数(人) | 20,000 | 59,074 | ③地方創生に効果があった。 交付金対象経費としてマーケットデッキ、 テラス、展望台、管理施設の整備を行っ た。 平成30年3月工事完了 交付金充当額(21,154,398円) | ①総合戦略のKPI達成に有効であった。 ・今回は数字が大きく上回っているが、単 純に比較できない面もあるので、現時点 での59,074人をもって、多いのか少ない のかを評価すべき。 ・選択肢が有効であったか有効とは言え ないの二つしかないが、現時点で求めら れるのであれば、今後の効果について期 待できるということで、有効であったとい う評価でよいと思う。 ・マーケットデッキの場所が分かりづらく、 集客も少なかった。収益確保に配慮して ほしい。チラシにマーケットデッキの売店 をPRするなど、プロモーションを工夫して 集客につなげれば引き続き出店してい ただけと思う。 ・平成30年3月の完了だと、本来であれば 事業の効果は、もう少し後の評価になる。 ・効果を検証する時期について、完成後 間もない施設なので、追跡調査も有効だ と思う。 | ③事業の継続 本交付金を活用した新たな施設整 備を平成29年度末に完了したとこ ろであり、継続した利活用方策の実 施によりKPIの達成を目指していく 必要がある。 |
| | | | | | 有料期間中 の入園料金 収入(千円) | 6,500 | 8,629 | | | |
| 東松山市化石と 自然の体験館観 光交流拠点事業 | 【基本目標・数値目標】 人口:平成31年 88,700人 年間観光入込客: 平成31年 250万人 市内事業所数: 平成31年 3,504 市内従業者数: 平成31年 36,500人 転入者数: 16,500人 (平成27年度～平成 31年度合計) | 化石と自然の体験館を増築 し、市南部の観光拠点化を図 る。新たに観光情報提供や観 光客が気軽に立ち寄り休憩 できるスペースを設け、施設 の機能を複合化することによ り、新たな誘客に加え、観光 客を周辺施設に誘導する流 れを生み出し、地域全体の観 光を牽引していく。施設整備 にあわせた効果促進としてオ リジナル商品の開発を行い、 施設の稼働力を向上させる。 | 23,058,000 | 10,737,900 | 年間観光入 込客数(万 人) | 235 | 268 | ③地方創生に効果があった。 【施設整備】 観光拠点化するため既存施設の改修及 び増築を行い、展示スペース、事務・ バックヤード、収蔵スペース、屋外多 目的スペースを整備した。 平成30年1月工事完了 交付金充当額(10,530,000円) 【効果促進】 オリジナル商品開発を委託し、11品目 の商品を開発した。 交付金充当額(207,900円) | ①総合戦略のKPI達成に有効であった。 ・選択肢が有効であったか有効とは言 えないの二つしかないが、現時点で求め られるのであれば、今後の効果について 期待できるということで、有効であった という評価でよいと思う。 ・本来であれば事業の効果は、もう少し 後の評価になる。 ・効果を検証する時期について、完成後 間もない施設なので、追跡調査も有効 だと思う。 | ③事業の継続 本交付金を活用した施設整備等の 実施期間は縮小営業していたた め、平成30年度から本格的なり ニューオープンとなっている。 継続した利活用方策の実施により KPIの達成を目指していく必要があ る。 |
| | | | | | 化石と自然 の体験館利 用者数(人) | 16,500 | 16,600 | | | |
| | | | | | 化石と自然 の体験館収 入(千円) | 7,400 | 7,887 | | | |